



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和 4年 5月 31日

発行者 園長 末永 寿宣

6月号

「10の姿」⑨言葉による伝え合い ～豊かな言葉や表現を身につけるには～

園長 末永 寿宣

「10の姿」の全体像については、5月号でお知らせしましたが、今月号から東日暮里幼稚園での10の姿を目指した、具体的な取り組みを紹介していきます。子どもが豊かな言葉や表現を身につけ、伝え合いを楽しむようになるには、どのようにすればよいのでしょうか。

本園では、言葉を通して先生や友だちと心を通わせ、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身につけること、さらに、思い巡らしたことなどを言葉で表現することを通して、言葉による伝え合いを楽しむようになることに重点を置いて、指導しています。それでは、その実践の一端を5月の活動の様子からご紹介します。



3歳 もも組 友だちに興味を示しながら、一緒に遊ぶ姿が増えてきました。「貸して」や「いいよ」など遊びに必要な言葉を覚え、自分たちで伝えようとしています。

クラスにいるカブトムシの幼虫が、虫かごの下から見える位置にいたので、子どもたちに見せると「ミミズみたい」と似ている物に例える発想に驚きました。夏になったら会おうねと言っていました。先生ともよくお話をしています。

園庭では、スクーターに乗っています。とても上手になり、乗り方も工夫するようになりました。友だちとおしゃべりしながら、遊びの打ち合わせをしているようです。

幼稚園にもすっかり慣れ、考えながら友だちと遊ぶ姿が多く見られるようになりました。ダンゴムシがいそうなところを友だちを誘って一緒に探しています。



4歳 たんぽぽ組



学級の時間では、ペアで「バス」を作ると、バスとバスがくっついて「大型バス」になりました。ピアノに合わせて繰り返し体を動かして、友だちとの関わりを楽しんでいます。

子どもたちが組み立てたブロックの上に布を使って屋根を作ったり、ブロックを並べて布団にしたり、友だちと一緒にイメージを共有し合いながら遊んでいます。

砂場では、トンネルを作ったり水が流れる道を作ったりして遊んでいます。流れた水が少しずつ減っていくことに気づくと「何でなくなったんだろう」と教師が問いかけると、「太陽が飲んだのかも」「砂の中に消えたんじゃないか」と答える子がいました。水をじっくり眺めて様子を観察したり、砂の中に水があるかもしれないと、スコップで掘ってみたりしました。

5歳 すみれ組

夏の子ども祭りに向けて相談を始めています。どんなお店を開きたいか出し合いました。役割をどうするか、どんな物が必要か、話し合いながら折り合いをつけています。

新しい鬼ごっこで友だちと関わりながら体を動かすことを楽しんでいます。鬼から逃げる、捕まった友だちを見つける、捕まった友だちを助けるために、瞬時にペアを作るなど、様々な工夫をして遊んでいます。

ヤモリをみんなで観察し、飼育の方法を調べています。昆虫類を食べることが分かり、どんな風に関わっていくか、自分たちで相談しています。また、生き物に触れることができるようになった子どもが増えてきました。

今後も、言葉による伝え合いを大切に、友だちと関わり合いながら遊ぶことに重点を置いて、指導してまいります。

